PRESS RELEASE
報道関係各位

2026 年 11 月 10 日
株式会社ハピラ

ホテルで働く方の声から生まれました！

宿泊施設の“不用品”と“忘れ物”の判別をサポートする「廃棄処分目印ラベル」の販売を開始

－10 月下旬より Amazon、Yahoo!ショッピングにて販売－

株式会社ハピラ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：恩田英博）は、宿泊施設における宿泊客の不要品と忘れ物の判別をサポートする新商品「廃棄処分目印ラベル」を、10 月下旬より「Amazon」、「Yahoo!ショッピング」にて発売いたしました。

Amazon: https://www.amazon.co.jp/dp/B0HN6L2JQ5

Yahoo!ショッピング: https://store.shopping.yahoo.co.jp/hapila/stc905.html









■客室に残された「不要品」がひと目で分かる！宿泊施設の悩みに応える便利アイテムが登場

近年、インバウンド需要の回復に伴い海外からの宿泊客が増加し、宿泊施設では客室に大型の荷物が残されるケースも増えています。残された荷物が「不要品」なのか「忘れ物」なのかを判断できず、一時保管や確認対応が必要になることで、スタッフの業務負担や保管コストの増加につながっているとの声も少なくありません。

今回発売する「廃棄処分目印ラベル」は、そんな実際にホテルで働く方の声を参考に開発した、業務用ラベルシールです。ゲストが処分を希望する荷物にラベルを貼ることで、“廃棄したい不要品”であることがひと目で分かり、確認業務や保管対応の負担軽減に役立ちます。

本製品は 1 枚ずつ切り離して使える天糊ブック型タイプ。必要な枚数だけ分けて使用できるため、常にすっきりとした状態で管理できます。台紙にはスリット加工を施しており、スムーズにはがせます。

また、日本語・英語・中国語・韓国語の多言語表記を採用。ラベル自体に使用方法を記載しているため、ひと目で用途が伝わりやすい仕様です。客室内への設置はもちろん、フロントでの配布・販売など、施設の運用に合わせて活用できます。



【「廃棄処分目印ラベル」商品概要】

宿泊施設で、不要品と忘れ物を判別するために使用する業務用ラベルシール。必要な枚数だけ分けて使える天糊ブック型タイプ。100 枚×2 冊入り。



発売日：10 月下旬
価格：オープン（※参考価格 715 円）
商品サイズ：縦 72mm×横 75mm×奥行 20mm
本体サイズ（1 冊）：縦 70mm×横 35mm×奥行 20mm
JAN コード：4550163018764
品番：STC905

販売店：Amazon（https://www.amazon.co.jp/dp/B0HN6L2JQ5）
Yahoo!ショッピング（https://store.shopping.yahoo.co.jp/hapila/stc905.html）他
詳細：https://www.hpl.co.jp/wp/wp-content/uploads/2026/10/STC905.pdf

■株式会社ハピラについて



“今日を、昨日よりもっと楽しく。”をテーマに、毎日がもっと楽しくなる商品をお届け。オフィス用品・文具雑貨から、工具・梱包・包装資材まで、お客様のニーズに応えるさまざまな商品を提供しています。ファイルやふせんなどの事務用品から、筆記具などの小物まで、あらゆる文具を取り扱っています。コレクション保護・収納シリーズ「コレサポ」、カンタン梱包シリーズ「POSKIT」など、100 円ショップ向けから一般価格帯まで、独自開発の商品を幅広く手掛けています。

【会社概要】

会社名：株式会社ハピラ

所在地：東京都中央区東日本橋 2-8-3　JMF ビル東日本橋 01

代表者：代表取締役社長　恩田英博

設立：1984 年（昭和 59 年）7 月

事業内容：輸入文具・生活用品等の企画、卸販売、OEM

URL：https://www.hpl.co.jp/

X（旧 Twitter）：https://x.com/_HPL_official

Instagram：https://www.instagram.com/hpl_happyitem/

【本件に関する報道関係者のお問い合わせ先】
株式会社ハピラ　商品開発部　広報
担当：清岡夢久美（080-5429-4763）
TEL：03-3851-1365／MAIL：media-info@hpl.co.jp